



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和3年11月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

同じ方向を向いて学ぶこと

校長 林 秀次

11月15日(月)臨床心理士の深澤大地さんを講師にお招きして、「子どものこころの理解と支援～『ただ聞く』ことと『よく聴く』ことの違い～」というテーマで研修会を行いました。本校の教員のみならず、保護者の方、保育園の保育士の方、そして平高等学校の校長先生、先生方も来てくださいました。参加した全員が、目からうろこで、子供の話を聴くことの大切さを感じるとともに、難しさも感じました。ワークショップもあり“本当に受講してよかった”と感じられる内容でした。特筆すべきは、今回、保護者、教員、保育士それぞれが、自分の立場で相対するのではなく、“子供のよりよい成長を願う”という共通の思いをもち共に研修に取り組み、共に学び合う、そんな機会となったことでした。

19日(金)の学習参観後には、PTAの総務委員会の皆様が企画されたSDGsに関わる講演会があり、こちらは児童も保護者、教員と一緒に学びました。また12月に予定されている学校保健委員会では、これまでは、学校とPTAの代表、校医の先生方とで子供たちの健康について話し合う形式でしたが、今回は5・6年の子供たちも交え、校医さんより目の健康について話をさせていただきます。3学期には家庭教育委員会の皆様が講演会を企画してくださっています。それぞれがすべて子供たちの成長のための取組です。そしてそれらを保護者のための講演、子供のための講演、教員のための講演と区切るのではなく、子供たちの成長のための企画、関わる全ての方への企画であると捉え、保護者の皆様や地域の皆様と同じ方向を向いて一緒に学んでいくそんな機会を大切にしていきたいと考えています。



華やかに、堂々と演舞する姿

民謡担当 金田 優子

4年生の道徳科の学習の時間に「上平小学校のよいところってどんなところかな。」と投げかけると、子供達は「民謡があるところ」と一番に答えました。今年度、赴任してきた私には、「こんなにも子供たちの中に民謡が根付いているのだな、素敵だな。」と実感しました。幼児期から、地域の民謡に触れ、低学年になると、上級生が演舞する姿を肌で感じ、3年生からは、実際に演者になるという素晴らしい伝統が受け継がれてきたためだろうと感じました。

今年度の学習発表会もコロナ禍の影響で、着付けの際の密を避けるため、着物には着替えず、こきりこの地方はフェイスシールドやマウスシールドを使用して演奏しました。けれど、子供達は指の先や顔の向き、隣と動きを揃えるなど、多くのことを身に付け、華やかに堂々と演舞しました。子供たちの成長を気長に見守り、指導してくださった講師の先生方に改めて感謝いたします。



11月13日(土)に富山県小学生火災予防研究発表大会が開催されました。本校からは5年生の児童5名が南砺市の代表として参加し、総合的な学習の時間に学んだ「地域の火災7年連続0件」の秘密と自分たちにできることを考え実践したことを発表しました。その結果、銀賞をいただきました。ご多用の中、地域の皆様をはじめ、南砺消防署、南砺市役所文化・世界遺産課の皆様のご協力を賜り、ありがとうございました。自分たちにできることの一つとして子供たちが作成した火災予防のポスターをこの学校だよりと併せて皆様の元に配布いたします。ぜひご覧ください。